

幼児教育学科

【教育目標（教育研究及び人材育成の目的）】

保育に関する専門的な知識と技術を修得し、柔軟な思考力と表現力、子どもを理解する力を養う。変化し続ける社会に興味・関心をもち、状況を的確に見極める判断力と適切な態度を身につける。子ども・大人の別なく他者とコミュニケーションをとり、自らを振り返りながら主体的・意欲的に社会に貢献できる人材の育成を目的とする。

【学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）】

京都文教短期大学の学位授与の方針を前提として、本学科では卒業時に学生が身につけておくべき4つの能力を定め、これらの能力を身につけることを到達目標とするカリキュラムを編成する。本学は、所定の期間在学し、所定の単位の修得をもって教育目標（教育研究及び人材育成の目的）を達成したものとみなし、短期大学士（幼児教育学）の学位を授与する。

- DP1 保育に関して幅広い知識を身につけている。〔知識・理解〕
- DP2 保育に必要な技術を身につけている。〔技術・表現〕
- DP3 身につけた知識や技術を活用し、表現することができる。〔判断・表現〕
- DP4 他者と協力し、主体的にさまざまな問題解決に取り組むことができる。〔意欲・態度〕

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー：CP）】

本学科では、「学位授与の方針」に定めた能力を身につけるために、総合教養科目（共通科目）、専門科目を基盤とした教育課程を設ける。各科目群のねらいに応じて重点箇所を◎（特に重点を置いている能力）と○（重点を置いている能力）で示す。教育課程は、各授業科目を卒業必修科目と選択科目に分け、これを各年次に配当し、講義、演習、実技の適切な方法により実施する。

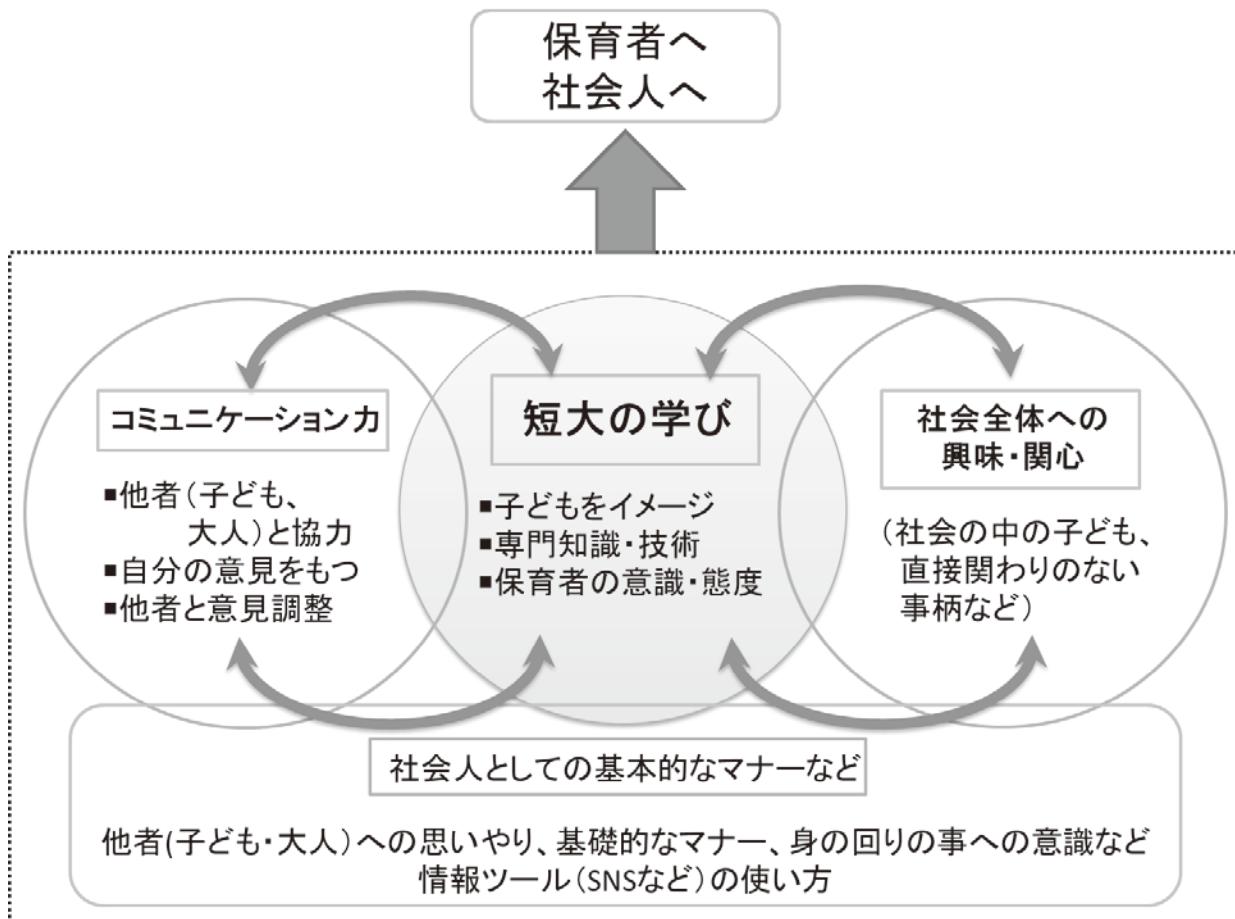
学科専門科目

保育現場における様々な問題に取り組むことのできる人材を育成する。そのための科目を学科専門科目として開講する。保育に関する基礎的な知識を身につける講義、専門的な技術や表現方法を身につける演習・実技、さらに知識や技術を総合的に活かして課題を探究する保育ゼミを置く。

科目群		学年 配当	DP1	DP2	DP3	DP4	各科目のねらい
専門 科目	講義	1~2	◎		○	○	保育に関する知識を身につける。
	演習	1~2	○	○	◎	○	保育に関する様々な課題に対して思考し、表現する方法を身につける。
	実技	1~2		◎	○		保育に関する技術を身につける。
	保育ゼミ	2	○	○	○	◎	身につけた知識・技術を総合的に活かして、他者と協力しながら、自分の課題を探究する。

幼児教育学科の学びと生活

幼児教育学科での2年間の学びと生活は、次の図のようになっています。充実した学生生活を送るためには、以下に記したことを心に留めて、2年生の後期までしっかりと学びを深めて下さい。あなたが、広く社会に貢献できる人材として育つことを願っています。



○短大での学びについて・・・高校との違いがわかりますか

短大では、授業で得た知識や技術をベースに、自分の興味や関心を広げ、主体的に学んでいくことが求められます。教科書の有無、板書のスタイル、プリントなどの補助教材の活用など、授業のスタイルは様々です。たとえどのようなスタイルの授業でも、必要な情報を受け止め、後で自主学習ができるよう、授業の受け方や情報の整理の仕方を工夫する姿勢が必要です。

○社会で求められるコミュニケーション力・・・自分の思いを表現していますか

コミュニケーション力は、保育者になるためだけでなく、社会人として身につける必要があります。そのためには、友人との関わりに満足することなく、子どもや大人、多様な他者とコミュニケーションを取り、場面に応じて協力し合う必要性に気づくことが大切です。そうすることで、他者の話に耳を傾け、互いの意見を交換しながら、他者を理解しようとする態度が身につくはずです。

授業や実習など、大学生活のあらゆる場において、他者と協力し合い、課題に取り組もうとする姿勢と解決に向けての努力を積み重ねることで、社会で求められるコミュニケーション力は、身につけられるのです。

○社会全体への興味・関心・・・世の中の動きを感じていますか

今まで、「自分と付き合いのある人たちとの関係」「生活の場や身近な出来事」だけに興味・関心を持つことが多かったかも知れません。これからは、広く社会全体の仕組みや出来事に興味・関心を持つ必要があります。行ったことのない場所、自分とは違う体験をしている人が、世の中には数多く存在します。自分が当たり前のように考え行動したことを、一度立ち止まって、見直してみましょう。

* 身近にあるSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）などの利用から注意しよう

現在ではほとんどの学生がSNSを利用している状況にあります。SNSは大変便利でまた楽しい反面、想像以上に危険性があることを十分に理解しておく必要があります。個人情報については、自他を問わず細心の注意を払わなければいけません。軽い気持ちで個人に関する出来事や情報を公開することは避けましょう。

最近では、SNSに不適切な書き込みを行うことで、学内だけでなく学外からも社会的に非難を受ける事故が起こっています。インターネットは自分の知らない間に世界中に情報が拡散し、多くの他人の目にさらされます。非常識な書き込みは、人生を台無しにすることもありますから、絶対にしないでください。一人の非常識な書き込みにより、実習先に多大な迷惑をおかけすることにもなり、他の在学生の実習先を奪うこともあると、強く認識してください。

○保育者を目指すなら・・・子どもの姿を思い描いていますか

保育者になるために、多くの専門的な知識や技術を身につけることが求められています。ピアノの練習を初めとして、いろいろな学習や体験の際、子どもの姿を思い描いてみたり、あるいは、保育者になった自分を想定したりすると楽しくなってきます。保育者としてのキャリアを長く継続することを目指して、楽しみながら努力を重ねましょう。そして、常に子どもを意識しましょう。子どもはいつも見たことを取り込んでいきます。つまり、子どもはあなたの言動を真似るのです。自らが子どものモデルであることを忘れず、日常の生活を見つめ直してください。実習では、あなたの「ありのままの姿」を子どもが見ているのです。自分の言葉遣いや立ち居振る舞いにも気を配りましょう。

保育は子どもを見るところから始まります。「いま・ここ」にいる子どもの姿を捉え、気持ちをくみ取り、一人ひとりの子どもを理解することが求められます。子どもと同じ目線に立ち、子どもを感じ取ることができるアンテナを磨きましょう。そのためにも、人としてのやさしい心や感性を身につけましょう。